



## 2025年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月14日

上場会社名 株式会社ELEMENTS 上場取引所 東  
 コード番号 5246 URL <https://elementsinc.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 敬起  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 山田 洋輔 (TEL) 03(4530)3002  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年11月期第3四半期の連結業績(2024年12月1日~2025年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第3四半期	2,721	46.5	219	△26.4	△136	—	△179	—	△622	—
2024年11月期第3四半期	1,857	41.2	297	—	110	—	45	—	△38	—

(注) 包括利益 2025年11月期第3四半期 △730百万円(—%) 2024年11月期第3四半期 4百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年11月期第3四半期	△25.31	—	—	—
2024年11月期第3四半期	△1.67	—	—	—

(注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費(有形・無形固定資産)+株式報酬費用+のれん償却額  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第3四半期	6,301	—	2,026	—	24.4	—
2024年11月期	4,916	—	2,609	—	42.8	—

(参考) 自己資本 2025年11月期第3四半期 1,536百万円 2024年11月期 2,105百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2024年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年11月期	—	0.00	—	—	—
2025年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年11月期の連結業績予想(2024年12月1日~2025年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,815~ 4,000	49.9~ 57.1	150~ 275	△56.3% ~△19.8%	△325~ △225	—	△375~ △275	—	△825~ △725	—	△33.59 ~△29.52	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

株式会社ポラリファイ  
新規 2社(社名) 株式会社ELEMENTS、除外 1社(社名) -  
CLOUD四国

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年11月期3Q	24,679,114株	2024年11月期	24,501,814株
2025年11月期3Q	1株	2024年11月期	1株
2025年11月期3Q	24,600,362株	2024年11月期3Q	23,137,958株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書 .....	4
四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年12月1日から2025年8月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和を背景に、経済活動が正常化に向かい、景気は緩やかに持ち直す動きがみられました。しかしながら、資源価格の高騰や物価高、欧米における金融引き締めの影響や中国経済に対する先行き懸念など、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの提供するAIクラウド基盤(IoP Cloud)は、「個人認証ソリューション」と、主にヒトの生活三大要素であります「衣食住」の分野において、モノやサービスの「個人最適化ソリューション」を提供しております。新型コロナウイルス感染症の蔓延を契機に、社会全体のデジタル化が進む中、当社グループが提供する「個人認証ソリューション」と「個人最適化ソリューション」を用いたDX化の需要は拡大傾向にあります。

「個人認証ソリューション」が提供するオンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」は、犯罪収益移転防止法の改正及びコロナ禍の影響を受け、市場が拡大しております。株式会社矢野経済研究所「eKYC/個人認証ソリューション市場に関する調査(2025年)」(2025年3月28日発表)によれば、eKYC及び個人認証ソリューション市場の規模は2027年度には248億円に達すると見込まれており、業界を横断して更なる広がりが予想されています。また、中長期的には各業界におけるDXは加速し、活発な投資が行われることが見込まれます。

このような環境の中で当社グループは、当第3四半期連結累計期間も引き続き、国内における主力サービスの拡大期と位置付け、事業を展開してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は2,721,221千円(前年同期比46.5%増)、EBITDA(注)は219,260千円(前年同期比26.4%減)、営業損失は136,470千円(前年同期は営業利益110,406千円)、経常損失は179,131千円(前年同期は経常利益45,037千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は622,691千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失38,529千円)となりました。

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費(有形・無形固定資産)+株式報酬費用+のれん償却額

### (2) 財政状態に関する説明

#### <資産、負債及び純資産の状況>

#### ① 資産

当第3四半期連結会計期間における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,384,825千円増加し、6,301,693千円となりました。主な要因は、売掛金の増加285,817千円、その他の流動資産の増加106,795千円、有形固定資産の増加96,981千円、ソフトウェアの増加453,176千円、のれんの増加755,181千円、顧客関連資産の減少426,946千円などによるものであります。

#### ② 負債

当第3四半期連結会計期間における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,967,783千円増加し、4,275,617千円となりました。主な要因は、短期借入金の増加884,663千円、未払金の増加148,259千円、その他流動負債の増加157,037千円、長期借入金の増加787,319千円などによるものであります。

#### ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ582,957千円減少し、2,026,076千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金の減少622,691千円、新株予約権の増加70,706千円などによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回予想からの変更はありません。本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,746,276	2,701,349
売掛金	391,581	677,399
棚卸資産	3,481	1,993
その他	80,984	187,779
貸倒引当金	△15,060	△22,788
流動資産合計	3,207,262	3,545,732
固定資産		
有形固定資産	244,898	341,879
無形固定資産		
ソフトウェア	325,149	778,326
のれん	304,418	1,059,599
顧客関連資産	584,469	157,522
その他	38,090	188,257
無形固定資産合計	1,252,127	2,183,706
投資その他の資産	212,579	230,374
固定資産合計	1,709,605	2,755,960
資産合計	4,916,868	6,301,693
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	43,911	125,688
短期借入金	233,332	1,117,995
1年内返済予定の長期借入金	81,000	104,097
未払金	228,919	377,178
未払法人税等	20,121	10,368
賞与引当金	8,438	7,751
その他	91,399	248,437
流動負債合計	707,122	1,991,516
固定負債		
長期借入金	1,221,499	2,008,818
資産除去債務	6,106	-
その他	373,105	275,282
固定負債合計	1,600,711	2,284,100
負債合計	2,307,834	4,275,617
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	36,722
資本剰余金	3,175,272	3,201,995
利益剰余金	△1,079,273	△1,701,965
株主資本合計	2,105,999	1,536,753
新株予約権	186,975	257,682
非支配株主持分	316,059	231,641
純資産合計	2,609,033	2,026,076
負債純資産合計	4,916,868	6,301,693

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
売上高	1,857,043	2,721,221
売上原価	258,597	582,002
売上総利益	1,598,446	2,139,219
販売費及び一般管理費	1,488,040	2,275,690
営業利益又は営業損失(△)	110,406	△136,470
営業外収益		
受取利息	202	2,820
その他	493	276
営業外収益合計	696	3,097
営業外費用		
支払利息	18,609	28,993
持分法による投資損失	20,497	10,357
繰延資産償却	18,176	-
その他	8,781	6,407
営業外費用合計	66,064	45,758
経常利益又は経常損失(△)	45,037	△179,131
特別利益		
関係会社株式売却益	50	-
特別利益合計	50	-
特別損失		
減損損失	-	669,246
特別損失合計	-	669,246
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	45,088	△848,378
法人税、住民税及び事業税	51,556	29,050
法人税等調整額	△11,030	△146,528
法人税等合計	40,526	△117,477
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,562	△730,900
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	43,092	△108,209
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38,529	△622,691

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,562	△730,900
四半期包括利益	4,562	△730,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△38,529	△622,691
非支配株主に係る四半期包括利益	43,092	△108,209

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間において、株式会社ポラリファイの株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

なお、2025年3月31日をみなし取得日としており、かつ、中間連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書についても連結しております。

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ELEMENTS CLOUD四国を新たに設立したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

当社グループは、IoP Cloud事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

当社グループは、IoP Cloud事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	100,281千円	187,602千円
のれんの償却額	35,813	62,983